

助産学実習 I

| | | | |
|--------------|------------------|--------|--------|
| 責任者・コーディネーター | 成育看護学講座 高橋 淳美 講師 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 成育看護学講座 | | |
| 対象学年 | 4 | 区分/単位数 | 実習/2単位 |
| 期間 | 後期 | | |

・学修方針(講義概要等)

妊娠期、育児期にある対象者への病院等以外での助産ケアについて、その実際を体験的に学修する。また、開業助産師の助産活動の実際を通じて、助産師の専門性発揮に向けたあり方や関連機関との連携の持ち方について理解する。具体的には、各自治体の保健センター等で実施されている地域母子保健の実際(家庭訪問、母子健康手帳交付、両親学級等)、職能団体が実施する地域母子保健活動および助産所での助産ケアの実際について学修する。

・教育成果(アウトカム)

妊娠期、育児期にある対象者と病院外の場合で会い、体験を通してそのニーズを知ることができるようになる。また開業助産師の活動を体験的に学び、助産師の専門性を発揮した具体的な活動内容と関係機関との連携の状況を知り、地域における助産活動の広がりについて考えることができるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

| | |
|---|---|
| 2 | 生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。 |
| 3 | 看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。 |
| 4 | 看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。 |
| 5 | 患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。 |
| 7 | 保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。 |
| 8 | コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。 |

・到達目標(SBO)

1. 各自治体での地域母子保健活動の実際について学ぶことを通じて、助産師の役割を考えることができる。
2. 職能団体が実施する地域母子保健活動に参加し、地域で暮らす妊産婦とその家族のニーズを知り、助産師の役割について述べるることができる。
3. 助産所での助産ケアの実際を体験的に学び、助産師の専門性を発揮した助産活動とその実現に向けた関連機関との連携のあり方を考えることができる。

・実習日程

| | |
|------|---|
| 日程 | 10/28(月)～11/22(金) ※うち2週間 |
| 担当教員 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 |

| | |
|-----------|---|
| 授業内容/到達目標 | <p>【授業内容】実習ガイダンス(講義・演習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体、職能団体、助産所で行われる地域母子保健活動における助産ケアの方法がわかる ・地域母子保健活動で行う助産技術を演習を通して実践できる <p>【関連するSBO】1.2.3</p> <p>【事前学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域母子保健の講義資料を中心に復習する <p>【事後学修:60分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各実習施設での実習ポイントをまとめる <p>【授業内容】自治体で行われる地域母子保健活動:盛岡市または滝沢市 3日間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体で行われている家庭訪問、母子健康手帳交付、両親学級などの体験により、地域母子保健の実際を学び、自治体における助産師の役割を考えることができる <p>【関連するSBO】1</p> <p>【事前学修:1日あたり90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習目標と実習項目の抽出 ・抽出した実習項目について目的や内容、留意点を調べる <p>【事後学修:1日あたり60分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習からの学び、ポイントをまとめて提出 <p>【授業内容】職能団体で行われる地域母子保健活動:岩手県助産師会 3日間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職能団体が実施する地域母子保健活動へ参加し、体験を通して理解する <p>【関連するSBO】2</p> <p>【事前学修:1日あたり90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習目標と実習項目の抽出 ・抽出した実習項目について目的や内容、留意点を調べる <p>【事後学修:1日あたり60分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習からの学び、ポイントをまとめて提出 <p>【授業内容】助産所で行われる地域母子保健活動:遠野市助産院 1日、ともこ助産院 2日間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産所での助産ケアの実際を体験を通して理解する <p>【関連するSBO】3</p> <p>【事前学修:1日あたり90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習目標と実習項目の抽出 ・抽出した実習項目について目的や内容、留意点を調べる <p>【事後学修:1日あたり60分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習からの学び、ポイントをまとめて提出 |
|-----------|---|

・教科書・参考書等

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|-----------------------------------|--------|------|------|
| 教 | 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期第6版 | 我部山キヨ子 | 医学書院 | 2021 |
| 教 | 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期 第6版 | 我部山キヨ子 | 医学書院 | 2021 |
| 教 | 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期 第6版 | 石井邦子 | 医学書院 | 2021 |
| 教 | 助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 第6版 | 我部山キヨ子 | 医学書院 | 2023 |
| 教 | 助産学講座 第10巻 助産管理 第6版 | 我部山キヨ子 | 医学書院 | 2022 |
| 教 | 根拠と事故防止からみた母性看護技術 第3版 | 石村由利子 | 医学書院 | 2020 |

・成績評価方法

| |
|---|
| <p>【総括的評価】実習記録60%、実習態度40%にて評価する。なお、実習態度については実習評価表に基づいて評価する。</p> <p>【形成的評価】日々のカンファレンスにて理解度を確認し、教育内容の確認を行う。</p> |
|---|

・特記事項・その他

| |
|--|
| <p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 提出された記録物等については、適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 助産師(別表2):臨地実習 助産学実習</p> |
|--|

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------------|----------|----|------|
| 実習要項に記載する。 | | | |